



かみっこ



学びや育ちを大切に

秦野市立上小学校長・幼稚園長 中村 克己
TEL 88-0274 FAX 87-3809

4月30日（金）のPTA 総会にて、「学校行事は子どもたちの学びや育ちにおいて、大変重要なものとして考え、検温等の健康観察をはじめ感染防止対策をしっかり行い、国・県・市・学区の感染状況を見極め、保護者・地域の皆さまの声を聞きながら実施したいと考えています」と、お話をさせていただきました。そんな中、関東・関西・九州では緊急事態宣言が、神奈川県にはまん延防止重点措置に多くの地域が指定され、さらには秦野市の感染が広がる状況を鑑み、今月末の相撲大会を10月下旬に延期しました。そして、今年度実施する予定でした水泳学習についても、変異株流行の懸念や通常の体育学習に比べ感染リスクが高まることから、市内一斉に中止となりました。また、4、5年生のキャンプはデイキャンプとしました。どうぞ、ご理解とご協力くださいますようお願い申し上げます。

種もみまき/しろかき体験



5月7日（金）に園児、5年生が6月の田植えに向けた稲の苗床づくりを、須藤勉さんから教わりました。

水稲用育苗箱、土、種もみは須藤さんが準備をしてくださり、育苗箱で苗床をつくります。育苗マットに水をたっぷり浸し、その上に種まき機で種もみを均等にまき、土を平らになるように敷き詰め、さらにもう一段マットをかぶせ、その後、水を与えビニル袋で巻いて発芽を待つことになりました。

5月20日（木）には、5年生が稲づくりの水田に出かけ、代掻き体験をしました。田起こしされた田には、用水路から引かれた水が、たっぷり溜まり、アメンボが気持ちよく水上を散歩していました。

はじめに、須藤さんがトラクターでしっかり水田の土をかき混ぜてくださりました。須藤さんより「かき混ぜた後に田を平らにしないと、稲が深いところで水没してしまい、成長を妨げてしまう」との説明がありました。

また、昔は馬や牛に馬鍬（まぐわ）引かせ、この作業を行ったそうです。仕上げの平らにする道具は、柄ぶり使ったそうで、今回は、角材をロープで引きながら平らにする作業を行いました。

須藤さん、和田さん、多田さん、鶴野さん、細川さん、ありがとうございました。

6月1日（火）の田植えでのご指導もよろしくお願ひします。

園児・1, 2年運動遊び

5月10日（月）に、体育館と土俵を使って、「すもう健康たいそう」を指導いただきました。現在も3密を避けなければならないため、一人ひとりの間隔をあげ、12のたいそうと基本動作を教わりました。園児と1, 2年の児童は、一つずつ細川先生の型と動きを見ながら、懸命にまねながら取り組んでいました。腰の高さや、動きを静止するなど、態勢を維持することは大変厳しいものでした。相撲大会は延期になりましたが、この指導が秋に実ってくれることを願っています。



サツマイモの苗植え

5月24日（月）に、園児と1年生が農園でサツマイモの苗を植えました。

苗からひげのように出ている根を観察し、マルチビニルに穴を開け、一人一人が苗植えを行いました。植えた場所に土の布団をかぶせ、丁寧にできました。また、2年生は翌日に植えました。

これから暑い夏を経て、秋には立派なサツマイモが収穫できるといいですね。



生き物調査隊 / 生き物の里

昨年度までは秋に実施していた生き物調査隊。生き物の生息について季節を追って観察できればと、今年度より初夏の生き物の里を探検することにしました。

5月25日（火）は晴天に恵まれ、親子で生き物の里へ出かけました。いつもお世話になっているNPO法人丹沢自然学校理事の吉田直哉さんに講師をお願いし、ご指導いただきました。

今回採取された生き物は、マドジョウ、ホトケドジョウ、ツチガエル、3種のヤゴ、カワニナ、アブラハヤ、コオイムシ、アメリカザリガニ、イモリでした。イモリのお腹のオレンジ色の鮮やかさに、皆声をあげ恐る恐る触っていました。親子で網と入れ物をもって、用水路の底を探り多種の水生物を採取し、その様子を観察することができました。

ホトケドジョウとイモリは絶滅危惧種IB類で、これらが生息することは、県内でも珍しく、水と森に恵まれた生き物の里は神奈川県之宝になるそうです。また、外来種のザリガニは、里の生態系を崩すため、戻さず持ち帰りました。また、シュレーゲルアオガエルが田の穴の中にいるため、鳴き声だけで姿を見せない生態についても教わりました。



1, 2年生も生き物の里でエノキの会の皆様のご指導のもと、昆虫の採取と観察をしていました。